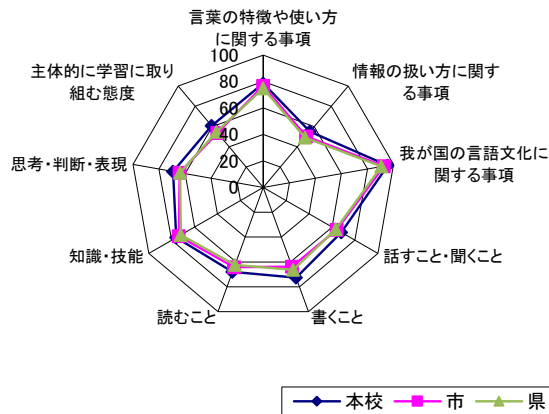


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 78.7 | 76.9 | 74.9 |
| | 情報の扱い方に関する事項 | 55.0 | 50.3 | 49.2 |
| | 我が国の言語文化に関する事項 | 95.5 | 92.6 | 90.7 |
| | 話すこと・聞くこと | 68.2 | 64.2 | 63.4 |
| | 書くこと | 72.6 | 63.7 | 66.4 |
| | 読むこと | 68.1 | 64.2 | 62.5 |
| 観点 | 知識・技能 | 76.1 | 73.7 | 71.9 |
| | 思考・判断・表現 | 69.2 | 64.1 | 63.8 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 60.8 | 53.8 | 54.8 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-----------------|--|--|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ○平均正答率は78.7%と市の平均を1.8ポイント、県の平均を3.8ポイント上回った。 ○故事成語について理解している生徒が多い。 ●文節の関係性についての問題について県の平均を6.5ポイント下回った。 | ・文節については、ワークやAIDリルなどを使って、基礎の定着から図る。 ・漢字の読み書きについては、漢字の小テストを引き続き行っていく。その際に、とめ・はね・はらいだけでなく筆順や部首についても丁寧に指導する。 |
| 情報の扱い方に関する事項 | ○平均正答率は55.0%と、市の平均を4.7ポイント、県の平均を6.3ポイント上回った。 ●情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように話の構成を捉える問題について苦手意識を持っている生徒がいる。 | ・提示された情報が何を伝えようとしているのかを考えさせる。 ・情報同士を関連付けて考えたときに、どのようなことがわかるのかについて考えさせる。 |
| 我が国の言語文化に関する事項 | ○平均正答率は95.5%と、市の平均を2.9ポイント、県の平均を4.8ポイント上回った。 ○歴史的仮名遣いについては基礎的な知識が定着している。 | ・歴史的仮名遣いについて基礎的な知識の定着はおおむねできている。今後も音読の時間やワーク、AIDリルを活用し更なる定着を図っていく。 |
| 話すこと・聞くこと | ○平均正答率は68.2%と、市の平均を4.0ポイント、県の平均を4.8ポイント上回った。 ●話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることに苦手意識を感じている生徒がいる。 | ・互いの発言の関係性や関連性などを意識して聞くように指導する。 ・話す際に、聞く人に何を伝えたいのか、自分の発言から相手がどのように感じ取るかを意識するよう指導する。 |
| 書くこと | ○平均正答率は72.6%と、市の平均を8.9ポイント、県の平均を6.2ポイント上回った。 ●自分の考えを明確にして書くことについて苦手意識を持っている生徒がいる。 | ・自分の考えのもととなる根拠についてよく考えさせてから文章を書くように指導する。 ・短文作成から始め、少しずつ長文を書けるようにしていく。 ・単語や故事成語などの知識を作文などで活用できるよう短文を作る活動を取り入れていく。 |
| 読むこと | ○平均正答率は68.1%と、市の平均を3.9ポイント、県の平均を5.6ポイント上回った。 ●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える問題では、県平均に近い平均正答率を記録し、向上の余地が見られる。 | ・根拠をもとにして考える力に課題が見られる。根拠とは何かを確認したうえで、筆者の考えや登場人物の行動のもととなる箇所を見つけるよう指導する。 ・自分の主観で文章を読むのではなく、どこに着目したらよいかをよく吟味して読み取るように指導する。 |